



Kusatsu International
Friendship Association

http://www.kifa-japan.org

No. 120
2017.12.28



KIFA スクウェア

[編集] 草津市国際交流協会



ポンティアック市中学生使節団が初来草!



ポンティアック市よりの中学生使節団受入 国際交流の大きな一歩！ 中学生使節団を初めて受入れる！

平成29年10月23日(月)～11月3日(金)の12日間、姉妹都市ポンティアック市より11名の中学生大使と10名の付添者の使節団を受入れました。

期間中の使節団の行動は旅程表通りの内容です。ハードな日程にもかかわらず、途中で体調不良を訴える方も出ずに全員元気に過ごされました。

中学生大使の一番大きな来草の目的は、草津市の中学校での授業体験です。中学生大使は3つのグループに分かれて、1週目は草津・松原・新堂中学校に、2週目は高穂・玉川・老上中学校に登校し、授業だけでなく部活動も体験されました。

また、小学校(笠縫、草津)も訪問して児童とゲームや劇を楽しんだり、給食やそうじも体験されました。日本文化に触れてもらう為に、宇治の平等院、伏見大社の見学、藍染体験や浴衣の着付け教室といった多彩なプログラ

ムを用意し、十分に日本文化を味わっていただけたことと思います。引率者の方は、比叡山延暦寺、大原三千院にも案内しました。

11月1日に行われたFarewell Partyでは11名の中学生大使が一人ひとり、自分で作った資料を使って自己紹介をしたり、歌やおどりの披露もありました。また、ホームステイ先の家族との思いで話に会は盛り上がりました。

11月2日にはロク八公園で、タイムカプセルを埋めました。10年後の自分にあてた手紙を書いてもらい、タイムカプセルに入れました。10年後、姉妹都市提携周年を迎える時に掘りおこす予定です。

このタイムカプセルには、お世話になったホームステイの方々のお手紙

も入れられています。

今回の中学生使節団の受入に関しては、市内の18家族の方にご協力いただきホームステイが実現しています。また、各中学校訪問時を中心に6名の方にも通訳でお世話になりました。

沢山の方のご協力で無事に今回の事業を終わらせることができました。有難うございました。

(KIFA事務局長 浦 幹夫)



ポンティアック市中学生大使と引率者の旅程表

		場 所
10/23(月)	15:00	名古屋国際空港空港着
	18:00	草津市内ホテル着
10/24(火)	9:30	市長・教育長表敬訪問
	10:30	本陣・街道交流館
	12:15	昼食
	14:45	琵琶湖博物館
	17:15	ホストファミリーと対面
10/25(水)	8:15	各中学校に登校(草津・松原・新堂)
	17:00頃	下校
10/26(木)	8:15	各中学校に登校(草津・松原・新堂) 引率者は登校後、別行動(下参照)
	17:00頃	下校
		引率者の行程
	9:00	給食センター
	11:00	笠縫幼稚園
	12:15	笠縫幼稚園発
	12:50	草津イオンモール着
	15:30	イオンモール発
16:00	各中学校に帰校後、中学生大使と合流	
10/27(金)	9:00	市役所ロータリー集合
	9:30	立命館大学見学
	13:00	平等院(英ガイド有)
	15:45	伏見稲荷大社
	17:30	市役所ロータリーにて解散
10/28(土)		ホストファミリーと自由行動
10/29(日)	9:00	近江スエヒロ本店(草津)1階にてホストファミリー交代式
10/30(月)	9:00	市役所ロータリーに集合
	9:30	小学校訪問(笠縫・草津)
	14:30	紺喜(藍染体験)
	17:30	市役所ロータリーで解散
10/31(火)	8:15	各中学校に登校(高穂・玉川・老上)
	17:00頃	下校
11/1(水)	8:15	各中学校に登校(高穂・玉川・老上) 引率者は登校後、別行動(下参照)
	17:00頃	下校
		引率者の行程
	9:15	比叡山延暦寺 東塔
	11:30	三千院
	16:00	各中学校に帰校後、中学生大使と合流
11/2(木)	18:30	交流報告会 ホテルポストンプラザにて
	9:00	市役所ロータリーに集合
	9:30	ゆかた着付け教室
	13:30	タイムカプセル(ロクハ公園)
11/3(金)	16:15	草津街あかり ボランティア
	10:30	市役所集合
	11:00	市役所発
	12:00	名古屋セントレア空港着
16:00	訪問団空港発デトロイトへ	

会長挨拶

この度、ポンティアック訪問団を受入れできましたこと、そして全ての日程を無事に終え訪問団の皆様が無事にご帰国されましたことに、深い安堵と心からの感謝を申し上げます。

このプロジェクトは本年度最大の事業であり、KIFAだけでなく学校教育課と町づくり協働課が連携し、まさに市を挙げて受入れた一大事業でありました。準備に携われた関係各箇所の皆様におかれましては、夜遅くまで作業いただき、たいへんご苦勞であったかと思えます。また、ホームステイを受け入れていただきましたご家庭の皆様におかれましても、事前にお部屋を整えられ、食事のご準備をされ、いろいろとご苦勞をおかけしたかとお推察いたします。

それぞれの立場で関わられた皆様のでいねいな準備のおかげで、ポンティアックの皆様は学校訪問や施設訪問など、様々な場面できめ細かく配慮されたプログラムに感動され、そしてホストファミリーの心温まるおもてなしに心から感激をされたことでしょう。ポンティアック学生大使の皆さんは、アメリカでは決してできないであろう様々な経験と感動を深く心に刻まれ、これから大きく飛躍されることと思えます。このような素晴らしい事業を成し得ることができたことに私自身も深く感激しております。この事業を通じて、ポンティアック市・草津市の双方で感動を共有することができて、これ程に絆を深められたことは無かったのではないかと思います。

それぞれの立場で関わられた皆様に改めて感謝申し上げます。そして来年は姉妹都市提携40周年の記念となる年です。草津市から多くの皆様でポンティアックへ訪問し、再会を喜びあって40周年を共に祝いたいと思えます。

(草津市国際交流協会 会長
南 啓次郎)

滋賀県ミシガン州友好使節団を 草津市で受入れ

ポンティアック市よりBrenda教育長、Randy議員を受入れ今後の草津市との交流について話し合いました。

9月8日(金)～9月13日(水)の6日間、ミシガン州友好使節団の一員としてポンティアック市より、Brenda教育長、Randy議員のお二人を草津市に迎えました。お二人はKIFA青地副会長のお宅にホームステイされながら行動されました。



9月9日(土)はミシガン州使節団の1員として行動され、大津プリンスホテルでの滋賀県の歓迎レセプションに出席された後、ホームステイ先に向かわれました。

10日(日)は草津ポンティアッククラブの方と一緒に、近江八幡の水郷巡りの舟遊びを楽しまれました。

11日(月)は午前中にロク八公園で、今回の来日を記念した植樹に臨まれ、その後草津市役所を表敬訪問されました。

市役所では橋川市長、川那邊教育長、中嶋議長、中村副議長と面談され、両市の今後の交流の在り方、10月に草津市が迎え入れるポンティアック市中学生大使の交流について話し合われました。

夕方にはホテルポストプラザ草津でWellcome Partyが開催され、草津市役所関係者、草津ポンティアッククラブの方々、KIFA会員の方々との交流を深められました。

12日(火)には10月の中学生大使の訪日内容の確認のために、草津中学校、草津小学校を訪問されました。

13日(水)に中部国際空港(セントレア)より帰国の途につかれました。

(KIFA 事務局長 浦 幹夫)





世界と出会う交流広場

平成29年11月12日 栗東芸術文化会館さくら

「国際交流が好き」「様々なものに触れられる場を作りたい」そんな思いから大学では国際交流団体に所属しています。その団体のつながりで昨年に引き続き、今回の"世界と出会う交流広場"にボランティアとして参加させていただきました。

当日はスタンプラリーの受付を主に担当させていただきました。会場の入り口付近でたくさんの方と出会い、会場全体を見て感じたことは、意識せずとも世界に触れているということです。たとえ国際交流を意識せずにイベントに訪れたとしても、その場にいるだけで国際交流につながる。そんな風に感じ、イベント名にある"世界と出会う"という言葉がとても素敵な表現だなと感じました。

また、ボランティアを通して私自身も国際交流の楽しさを改めて感じることができました。海外の方と話したり、ステージパフォーマンスを見たりすること。伝統衣装体験や屋台での食事を通して様々な文化に触れ、楽しむことができました。

普段の生活の中で、海外の方や文化に触れる機会は多くはないので、とても貴重な経験をさせていただきました。「何気なく、自然と世界に触れている」今回感じたこの感覚を自分たちの団体にも持ち帰り、これからのイベントの企画や活動に活かしていきたいと思います。

(滋賀大学 教育学部 寺田 美樹)



オーストリアの エコな生活と 環境メディアの真実



【エコロジーのみかた】

去る9月9日に国際理解講座「オーストリアのエコな生活と環境メディアの真実」に参加した。以前にKIFAスクエアでオーストリアでの生活を紹介していただいた笠縫小学校の中村先生と関西学院大学社会学部准教授ガブリエル・ハードさんが講師だった。

中村先生は本職が小学校の先生なので、オーストリアの小学校と自分の現地での生活に関わる話をしてくださった。マンションの生活で出た生ゴミは、マンションで決められたゴミ収集場所に設置してあるコンテナに捨てることになっている。そのコンテナには鍵があり、自分の部屋の鍵で開けることができる。また自分が不要な物で、でもまだ使えそうな物は、そのコンテナの上に置いておくと誰かがもらってってくれる。そしてプラスチックのゴミよりもペットボトルのゴミの方が多いとか。小学校ではゴミの分別を学習するのに分別ミニキットがあり、今回の講座で先生がそのキットを持ってきてくれていた。子どもたちに説明するには大変分かりやすい物だったので、

草津市にもあればいいなあ、と思った。

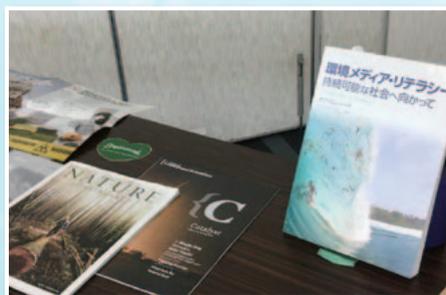
ガブリエル先生は、人のエコロジーに関する知識に実行力が伴わないという、心理的な面を教えてくださいました。電気やガスといったエネルギーの節約は、一人ひとりが心がけて必要な時に必要な分だけ使えば良い。しかし一人の節約が一体どれだけの効果を生むのか半信半疑である為、ついムダ使いしてしまう。ムダ使いを考える中で、今年の夏も「熱中症」が幾度となくニュースになり、冷房をつけるように、テレビのアナウンサーからの呼びかけが何度もあった。こういう場合の冷房はムダ使いと思わず、エアコンを使える気持ちになって欲しいが、皆はどうしているのだろうか。

エコロジーはゴミ・エネルギーそのものの他に、起因する事柄を考えるのも大切であると話が合った。例えば漁獲量。昔はお刺身にする鯛や鯖はおめでたい時だけのものではあったが、今ではスーパーへ行けば、いつでも買えるし、売れ残ったら破棄になる。この量はほ

んとうに必要な量なのか、という問いかけだ。また、「フードバンク」に関する話が出た。フードバンクとは、包装の傷みなどで、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通できなくなった食品を、企業から寄付を受け生活困窮者などに配給する活動およびその活動を行う団体のことをいう。この講座に参加した人の話では、栗東・草津を拠点としているフードバンクができたそうだ。

私はエコロジーと聞いて「エネルギーの節約・物のリサイクル」しか考えていなかったが、他にも考えることが沢山あることに驚いた。また様々な人が新しい知識を得て、活かし、動いていることに感動した。そして日本でこの様な活動をして、私たちに気づきを促してくれている海外の方々に感謝の気持ちを伝えたい。

(とかちふ)



留学生と一緒に滋賀の自然と文化を学ぶバスツアー

11月19日、学生支援機構助成事業、留学生と行くバスツアー「二大仏とふる里まつりin甲賀」を行いました。十楽寺、大池寺、第20回甲賀ふる里まつりを見学しました。

このツアーには、タイ、エジプト、ベトナム・中国出身の留学生や研修生、そして日本人の高校生など、総勢34名が参加しました。通訳を担当したハンガリー出身の留学生ピーターさんのおかげで、参加者の皆さんは日本文化と歴史をしっかりと学ぶことができました。

十楽寺と大池寺では貴重で美しい仏様やお庭を楽しみ、住職さんからお寺や仏像の歴史についてお話を伺いました。個人的には、もともと外に置いてあった仏様で、多くの方が通りすがりに線香をたいて拝んだために、真っ黒になったという仏様が印象に残りました。

お昼ご飯は、ダイヤモンド滋賀さんで、イスラム教徒の方でも食べられるハラル料理をご準備いただき、参加者みんなで同じ食事を楽しみました。

そして、ふる里祭りでは餅つき体験とつきたてのお餅の試食、和太鼓の見学そして餅まき体験もしました。

(KIFA事務局員 緒方 加代子)



バスツアーの感想

I had a wonderful time on the bus tour organized by KIFA. We visited the Daichiji and Jyurakyuji temples, two out of the three pillars of the spiritual triangle of Shiga. There, we learnt about the history of the temples and gained some insight into the mysterious world of Buddhism by the main priests themselves. We could also enjoy traditional Japanese cuisine. The tour ended with visiting a festival, where people gathered to enjoy local food and to participate in various events, such as making mochi or listening to taiko. As the main event, the participants were showered in mochi being thrown from a central platform. I had the luck to be one of the persons who were throwing the mochi to the others. I had a lot of fun there!

I am very grateful to KIFA for inviting me to this event, where I could experience yet another beautiful side of Japan.

(立命館大学理工学部 情報理工研究科博士後期課程 ハンガリー出身 イハス ペーテル ラヨシュ)

案内

国際理解講座

「JICA帰国隊員報告会 こんな国で活躍する日本人! ケニア編」

- 日 時：平成30年1月19日(金) 18:30~20:00
- 場 所：草津市立まちづくりセンター「202会議室」
- 対 象：どなたでも
- 参加費：無料



- 内 容：JICA帰国隊員の山本康夫さんに2年間のケニアでの活動経験を話して頂きます。
ケニアの名物フードと紅茶も用意しています。

案内

文化庁事業

「多文化共生フォーラム」

3年間の文化庁事業「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の最後のフォーラムです。草津市の多文化共生社会実現に向けて語り合しましょう!

- 日 時：平成30年1月21日(日) 13:30~16:00
- 場 所：草津市役所2F特大会議室又は8F大会議室
- 対 象：どなたでも
- 参加費：無料
- 内 容：

【先進地事例発表】

- ①「ともにいきる地域づくり」 甲賀市国際交流協会
- ②「広報のやさしい日本語版」 湖南省国際協会
- ③「外国からの人々と野路町の人々のハートフルなものごと」
- ④「介護の現場で働く外国人の人の語り」

【ワークショップ】

- ・外国人と日本人が共に暮らすために! 違いを活かしたまちづくりとは
- ・住みやすいまちづくりに向け、地域ができること
- ・事例を聞いて外国人と日本語で会話できるよう、それぞれができること



案内

What is Halal?

ハラール料理cooking

- 日 時：平成30年1月14日(日) 10:00~15:00
- 場 所：フェリエ南草津5F調理室
- 内 容：①ハラール料理の調理実習&試食
②ハラールフードについて学ぼう!
- 参加費：一般800円
KIFA会員500円
- 定 員：20名(先着順)



報告

多文化共生社会実現に向けての取組

草津市、KIFAが進めている多文化共生活動の推進の一環として、KIFA中西副会長が、平成29年11月22日(水)に佐賀県で開催された「平成29年度地域国際化ステップアップセミナー(多文化共生)in佐賀『外国人とともに住む多文化共生のまちづくり』」で登壇され、「災害支援、国籍超える 滋賀に外国人だけの消防団」と題して機能別消防団員の事を話されました。

